

2nd

KITE SOCIETY
CONCERT

KITE SOCIETY 第2回定期演奏会

合唱：
カイトソサィエティ
長野高校合唱班

日時：
'67, 4, 1, 2:00a.m.

会場：
長野市民会館

後援：
信濃毎日新聞社
信越放送

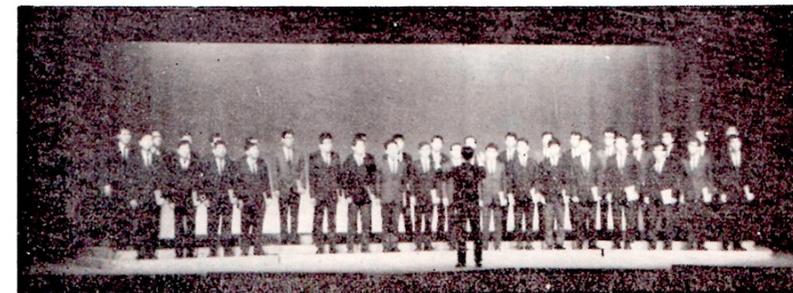
<ごあいさつ>

いよいよ入学式のシーズンです。大きなランドセルを背負った小さな小学生、苦難を突破して合格の喜びをかみしめた高校・大学の新生等々、それぞれ新しい気持ちでこの春を迎えております。

私共カイトソサィエティも会が結成されて以来、一年半、ここに昨年に引き続き、第二回の定期演奏会を持つに至りました。昨年、皆様方の暖かい御支援、御協力を賜り、盛大なうちにフィナーレを飾ることができ、私共一同心より感謝いたしております。昨年のプログラムは、「子供の一年」「月光とビエロ」で大変好評をいただきましたが、本年はがらりと曲目も一新し、皆様の御批判等をいただきたく思っております。今回も長野高校合唱班現役の賛助を仰ぎ、又、信濃毎日新聞社、信越放送の後援をいただいております。関係各位には厚く御礼申し上げます。

皆様におかれましても、このような演奏会を機会に、合唱というものを良く理解いたゞいて、いつも口びるに歌を持てるような人になっていただきたいと思います。

今後共、どうか御支援、御後援の程を心よりお願い申し上げます。



PROGRAM

I. 管弦楽曲より

交響詩 フィンランディアから「フィンランディア」
交響曲第九番「新世界より」第二楽章ラルゴから「家路」

II. 楽しい外国のうた

Freie Kunst
Annie Laurie
Ständchen
Until the Dawn
Old Black Joe

III. 現代邦人作品集

両国
春
金魚
最上川舟歌

IV. 黒人霊歌集

Deep River
Sometimes I feel like a motherless Child
Steal Away
Go Down Moses
Soon-a will be done

V. 男声合唱組曲「枯木と太陽の歌」

枯木は独りで歌う
花と太陽の会話
冬の夜の木枯の合唱
枯木よ 太陽に祈る

曲目解説とご案内 (i)

I 管弦楽曲より

シベリウス作曲
交響詩「フィンランディア」から「フィンランディア」
ドヴォルザーク作曲
交響曲第九番「新世界より」第二楽章 ラルゴから「家路」

指揮 三島毅

管弦楽曲と合唱のつながりは、古来宗教曲の演奏としてしばしば行なわれ、交響曲においてもベートーヴェンの第九番「合唱つき」マーラーの大地の歌が有名な例とされましょう。

さて私達はこれとは趣きを異にしまして、いわゆる管弦楽曲をそのまま合唱にとり入れてみました。

まずフィンランド最大の音楽家シベリウスの作品のうちで最も親しまれている、交響詩「フィンランディア」からその主題、次に、全曲に黒人霊歌的な雰囲気漂う、ボヘミアの人、ドヴォルザークの交響曲「新世界」から第二楽章部分を合唱で演奏します。

この曲に関し、シベリウス、ドヴォルザークが、期せずして共に民謡の精神に自己の創作音楽を同化させたと言っているのは興味深いところです。

管弦楽の魅力を、男声合唱のもつ何かで置きかえられたら……そんな気持で歌います。

指揮者の横顔

三島毅

昭和39年度、多田武彦の富士山を振り、県征覇、初めて中央に進出。又大曲「山に祈る」に挑む。大きな手を振っての彼の指揮はカッコはよくないが、音楽を、人の心をつちぎりにぎっている。現在東北大に在学中、カイト共に大 学合唱団でも中堅的存在。

II 楽しい外国のうた

Freie Kunst (自由の歌)
Annie Laurie (アンニーローリー)
Ständchen (小夜曲)
Until the Dawn (朝まで)
Old Black Joe (オールドブラックジョー)

指揮 金丸文雄

合唱に欠けてならない要素、そのひとつに楽しさがあるといえるでしょう。

私達を育くんだ長野高校合唱班の班歌として歌われています、「Freie Kunst (自由のうた)」をスタートとして、このステージでは、親しまれている曲に、私達の愛唱歌を加えて歌います。

まずドイツ国土と自由を讃えるストウンツの曲「Freie Kunst」、何かしら私達に共感を与えいつの間にか班歌として歌われるようになりました。アメリカではフォスターの名曲「Old Black Joe」を黒人霊歌とは違った感じで、そしてイギリスでは親しまれてきた名曲「Annie Laurie」と愛唱歌「Until the Dawn」をその流れるようなメロディにのせて口ずさみます。最後に再びドイツに渡り、マルシユネルの甘い曲、「Ständchen」をお送りしましょう。

指揮者の横顔

金丸文雄

昭和40年度の長野高校合唱班の指揮者であり、現在金沢大合唱団で活躍するかたわら、工学部に学んでいる。現役中は清水箒の大曲「月光とピエロ」を振る。小さい体ながらそのバイタリティには感心させられる。

Ⅲ 現代邦人作品集

多田武彦作曲 両国
 大中 恩作曲 春
 多田武彦作曲 金魚
 清水 脩作曲 最上川舟歌

合唱 長野高校合唱班
 指揮 石坂 幸一

昨年の賛助ではオペラの中の男声合唱を歌ってくれました長野高校合唱班、今回の賛助ステージでは再び班の得意とするレパートリー邦人作品にとりくんでおります。

まず木下杢太郎の詩に多田武彦が作曲した東京は両国の情景を歌った「両国」、阪田、大中コンビによる組曲「我が歳月」から「春」。そして男声合唱団が一度は手にする草野心平の詩による多田武彦の曲、そのうち青みどろの中に幻想的に描かれた「金魚」、最後に、昨秋来日したブルガリア男声合唱団が、見事その味を出して歌った清水脩の東北民謡、「最上川舟歌」を演奏します。

高校生らしくまじめに歌いあげます長高合唱班の健闘に御声援下さい。

プロフィール：長野高校合唱班

新しい魅力を含みながらも、伝統的な香りがどこか漂う、そんなムードの中で、ここ数年の躍進はめざましい。それだけに又合唱団の転機を望む声も聞かれるような時期に来ているのかもしれない。学生の合唱団である以上、そこには流れがある。そんな流れを毎年微弱な力を集めて本流に導いていく、そこに何か頼もしさを感じる。今年も得意な邦人作品をスタートとして大きく伸びようとしている合唱班。そこにも若さを惜しまない伝統的なクラブの何かを感じる。

Ⅳ 黒人霊歌集

編曲 福永 陽一郎
 Deep river (深い河)
 Sometimes I feel like a motherless Child
 (時には母のない子のように)
 Steal Away (逃がれゆかん)
 Go Down Moses (行けよモーゼ)
 Soon-a will be done (やがて終りの日が)

指揮 北山 一男

故郷をあとに、奴隷としてアメリカに送られた黒人達の生活は余にもつらくみじめなものでした。黒人霊歌はその中で、信仰と強く結びつき、人間としての社会を根底に欲しつつ、うたわれ続けて来たのでした。これらの曲は、ある時は絶望の状態を、時によると全くはげしく、力強い精神力を、そして苦しみの中の希望を、死という存在を見つめる中で、つらく、しかし美しくつづっています。

今日演奏します曲のうちでもDeep River, Sometimes I……は人生の絶望を、又 Go Down Moses, Steal away は信仰を歌いあげています。

黒人霊歌のもつ音楽を、人間の深さを感じる事ができたらと思っています。

指揮者の横顔

北山 一男

昭和33年度卒。持ち前のリーダーシップとニューモアを駆使して班長の重任を果した。現在、埼玉大合唱団で活躍中。指揮の経験はなく今回が初舞台。彼の持ち味が出て欲しい。カイトの総務もうけもっている。

Ⅴ 男声合唱組曲「枯木と太陽の歌」

中田 浩一郎 作詞
 石井 敏 作曲

枯木は独りで歌う
 花と太陽の会話
 冬の夜の木枯の合唱
 枯木は太陽に祈る

合唱 カイト・ソサイエティ
 長野高校合唱班
 指揮 山本 昇
 伴奏 塩川 由美

第二回定期演奏会も恒例の現役、O. B. の合同合唱を最終ステージに幕となります。このステージ、今回は男声合唱組曲「枯木と太陽の歌」を取りあげ、曲から、詩から未知の何かを求めてまいりました。いわゆる難曲の部類にはいるこの曲をあえて取りあげしむる魅力はなにか。

ここで多くを語る代りに作曲者、石井敏氏の言葉を掲げましょう。

「私達が日々人生に於ける美しさの発見を重ねていくように、最近の私にとっての新しい経験は、男声合唱のみに存在する特殊な美しさに接した事でありました。そしてその美しさ、その力強さ、表現の中の広さといったこれらの数々の魅力に、否応なく引きづられて創られていったのがこの曲なのです。

この作品は、孤独な人間の、人生に於けるつきつめた哀歎といった誰にでも通ずるであろう内容に基いて一貫したイメージを持って予め作曲し、それを私の心の友である中田君と、曲を訂正し或は詩を訂正しながら作りあげて行ったもので、ある意味では音楽と詩が同時に生れてきた、とさえ言えると思っています。」

人生に於ける哀歎を歌う時、そこには堀口大学のビエロが、やはり目に、耳に再現するのです。

顧問指揮と客演の伴奏を得てのこのステージ、精一杯の演奏をと考えております。

指揮者の横顔

山本 昇先生

私達の恩師でもあり、大先輩でもある先生が御家庭を築かれてから五年……私達の現役時代から現在に至るまでの先生に対する印象は時と共に変わりつつあります。高校時代の先生は私達にとって厳しきだけ、いつも叱りが飛んでくるかもしれぬという存在でしたが今は逆、あの小さな身体からにじみでるファイト、丸みを帯びた性格の中にかもしだす威厳に、我々の合唱はピリッと縮まり、味のあるものにされます。3、4人がビールをさげて先生のお宅へ向うといった場面もよく見られ、我々の大先輩であり、良き指導者であり、又、兄貴的存在である先生は、今や、我々にとってなくてはならぬ人なのです。

枯木と太陽の歌

中田浩一郎

I 枯木は独りで唱う

枯木は独りで唱う
枯木は独りきりで唱う
枯木は独りなのだ
枯木は独りきりだよ

今宵の月の出に
夜空に向って
心こめて唱うよ
生命の限り叫ぶよ

きれいな月の夜だ
悲しい祭りだ

大地の深い眠り覚めよ
枯木は思うさま唱うよ

地軸をふるわせ星にもとどけ
と

枯木はすべての思いこめて
夜空に向って唱うよ

神への願いだ
神への祈りだ

襲うはくろかけ
悪魔の怒りだ
轟くかみなり
きらめく光りだ
大地は狂うよ
この夜の終りだ
天地は裂けるよ
Ha ha ha ha ha ha

枯木よ折れるな
枯木よ折れるな
悪魔に打ち克て
消え去れくろかけ

枯木は独りで唱う
枯木は独りきりだ
独りで唱うだけだよ
ひとりで ひとりで……

II 花と太陽の会話

Lon lon lon lon lon

そらごらん あの岡
そらごらん 野原を
花赫く 萌えるよ

そらごらん あの里
野は光り 鳥鳴く
陽は昇る 大空

花の言葉 優しく
陽に向いささやく
今日の恵み 喜び

花咲くあの岡越え
あの里 荷馬車は行く
はるかに……

今日の恵み 喜び
花開き 唱えよ
陽は燃え輝く

花咲くあの岡越え
あの里 荷馬車は行く
はるかに……

晴れわたる青空
陽は燃え めぐるよ
咲く花にほゝえみ

散る花にさゝやき
やさし愛ののぞみを
いつまでも忘れず

花咲くあの岡越え
はるかに
消えゆく 消えゆく……

III 冬の夜の木枯の合唱

黒雲ひろがる 嵐が来る
足をふまえて 枝葉をあげ

北風吹く吹雪がくる
吹雪に耐え 克て 克て

葉っぱは落ちてでも幹はやせて
も
肩を並べて 力を合わせろ

嵐がくる 吹雪がくる
北風吹き 荒れ 鳴り
吹き 荒れ 飛び去る……

春の日 岡は暮れ
友と二人の思い出は
いまは去り
鐘の音のやさしく鳴りわたる
夕の祈り いつの日かかえる

樹々はしおれ 青ざめて
声もなく

我が身を嘆き
ちふるえ涕く
春の日
岡に聞いた鐘の音よ

望みを捨てるな 嵐に向おう
力をふるって

吹雪だ 疾風だ 天地に響く
よ
葉っぱ散っても幹は折れても
力をふるって闘い続けよ

北風吹く 吹雪がくる
吹雪に耐え 克て 克て

が終って 傷つき倒れて
林に残ったひとつの枯木が
雄叫び あげるよ
雄叫び あげるよ……

IV 枯木は太陽に祈る

枯木は独りで唱う
枯木は独りなのだ
独りで唱うだけだよ

今宵の月の出に
夜空に真向いて
こころこめて唱うよ
生命の限り叫ぶよ

きれいな月の夜だ
悲しい祭りだ
生命のかぎり

枯木はいつも独りだ
闘い疲れて
傷つく躬を
励ましふるって
枯木は思うさま 唱うよ

大地をふるわせ
のぞみを求めて
悲しいところをいたわり

<この世の平和と
この世の恵みこそ
我が願い 我がのぞみ
のぞみ のぞみ……>

カイトという会が生まれて二年になります。夏、正月、練習…おりある毎に遠くの仲間が集まりそんな中で歌声が聞こえる。定期演奏会というしんどいものを媒介としてそんな仲間が仲間を募って来るのです。このカイトの第一期役員がこの四月で二年の任期を終え、カイトもまた新しい気持ちで出発です。最後に彼らの簡単な紹介をいたしましょう。

会長 須田勝弘（カイトの大黒柱、現在大阪大に在学中、普段は合唱との縁は少ないがカイトに関しては、すごい情熱を注いでいる。）

副会長 茂木 晃（この春富山大を卒業、残念ながら就職の関係で今回は出られず。37年度の長野高合唱班班長。）

大西 修（信州大を卒業、マーシャンに関する限り会長と覇を競う。カイトの潤滑油。）

総務 堀内征治（カイトの牽引的存在。信州大に在学中。大学音楽連盟の理事長を務め合唱の仕事なら試験もかまわぬといった感じ。）

加藤光男（現在理科大に学ぶ。大きな声は彼のトレードマーク。）

北山一男

渉内 福島貴和（新潟大男声合唱の指揮を務めるかたわらカイトへのファイトはすごい。カイト結成の提案者の一人。）

渉外 田中不二夫（雑用を細々と引き受けて大きな体を動かしている。信州大の混声合唱団指揮者の重任もある。）

会計 宮下助俊（月 100 円の会費集めに四苦八苦。しかし財布のひもは堅い。現在信州大に学ぶ。）

カイトとその仲間たち

各地にちらばるカイト（歌うとんびの会）の仲間は今年で約80名を数えました。学校の都合、仕事の関係で一室に会する事は仲々困難で、今回の定演も40名程の演奏です。常にくちびるに歌をモットーに、合唱活動を中心に^{ふる}故きを温めつつ楽しい仲間を作っております。故郷の習様、今後もどうぞよろしく。

- | | | | |
|-------------|-------------|------------|------------|
| 山本 昇(顧問) | 松永 茂一(BII) | 福島 貴和(TII) | 公文 道夫(BII) |
| | 茂木 晃(TII) | 福島 稔(BII) | 武井 忠広(TII) |
| | (以上昭和37年度卒) | 松沢 弥栄(TII) | 日詰 一彦(TII) |
| 飯田 弘己(BI) | 上野 直樹(TII) | 丸山 正一(BI) | 吉村 恭侃(BI) |
| 今井 勝男(BI) | 小嵐 正治(BI) | 丸山 秀夫(TII) | (以上40年度卒) |
| 今井 伸一(BII) | 田中 正(TI) | 三島 毅(BII) | |
| 大沢 彰(TI) | 塚田 智彦(BII) | 宮下 助俊(TII) | 大槻 周一(TI) |
| 鹿熊 厚(TI) | 堀内 征治(BI) | 柳沢 俊彦(BII) | 北村 和夫(BII) |
| 小嵐 正昭(TI) | 宮本 俊介(TI) | 渡辺 裕夫(BI) | 杵淵 正明(BI) |
| 清水 英一(BI) | 和田 忠久(BI) | (以上39年度卒) | 桐沢 佳昇(TII) |
| 霜鳥 十三男(BII) | (以上昭和38年度卒) | 有田 耕平(BI) | 小林 広夫(BI) |
| 十代田 建一(TI) | | 金丸 文雄(TI) | 佐藤 豊(BII) |
| (以上昭和36年度卒) | 飯田 治夫(BI) | 鎌田 道雄(TII) | 鈴木 孝一(TII) |
| 遠藤 好俊(BI) | 伊賀 賢司(BI) | 倉科 正紀(TII) | 高木 直行(BII) |
| 大西 修(BI) | 市村 信幸(TII) | 佐藤 安雄(BI) | 寺沢 孝之(BII) |
| 岡田 成文(BII) | 加藤 光男(BI) | 田野口 重明(BI) | 中沢 信仁(BII) |
| 片桐 茂彦(TII) | 北山 一男(TI) | 中沢 純一(TII) | 仲田 章(TII) |
| 須田 勝弘(TII) | 近藤 清(TII) | 浜田 潤(TI) | 宮川 英夫(TII) |
| 丹下 泰夫(BII) | 田 幸新造(TI) | 松橋 文幸(TI) | 宮沢 孝夫(BII) |
| 中島 武(BII) | 田中 武司(BII) | 真鍋 盛二(TI) | 宮下 莊治郎(TI) |
| 中村 巖(BII) | 田中 不二夫(BII) | 宮川 裕(BII) | 六川 達郎(TII) |
| 深沢 輝雄(TII) | 夏 日雄平(BII) | | 渡辺 明(BI) |
| | | | (以上41年度卒) |

商標

登録

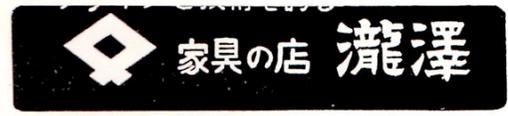
いなり寿司
のり巻
のり太巻
玉子巻
五目にぎり

弁当

権堂店・名店デパート・田町工場
代表 ③0628

よい家具のある生活
それは ほんとうに
しあわせな生活です

美しい暮らしのセンター 長野・緑町 TEL (2) 0251 (3) 0252



家具の店 瀧澤

滝沢木工株式会社 TEL (3) 0131~0133

純毛カシドス高校生服大特売

	10	11	12	13	14	15
純毛カシドス	5630	5760	5900	6030	6170	6300
テトロンウール	4770	4910	5040	5360	5500	5670

倉石寛三商店